

総評

理科がたいへん難しく、全体としてもやや難しめの出題でした。

入試や道コンのような総合問題は、学校の定期テストにくらべて出題範囲が広いので、難しく感じる人が多いかもしれませんが、問われているのは基本的な内容が中心です。攻略するには、基礎・基本の定着と、場面に応じて知識や技術を活用する訓練とが欠かせません。これからは、実践的な問題にも少しずつ取り組んで、活用する力をつけていきましょう。

入試問題の半分以上は、1・2年の学習内容で解くことのできる問題ですから、この範囲を復習し、定着させておくことはたいへん重要です。スムーズに受験勉強を始めるために、1・2年内容を完璧にしておきましょう。

国語

やや易しい出題でした。

㊦は、(6)の得点率がやや低くなりました。小学校で習った漢字の新しい読みを中学校で習うことがあります。そのような読みも漏らさず学習しましょう。㊧は、問四が予想よりも得点率が低くなりました。話し合いの一部分だけではなく、前後の流れも把握することが大切になります。㊨は、問四の得点率が低くなりました。㊩は、問五の得点率が低くなりました。どちらの問題も、文章の流れを捉えなければ解けない問題でした。文章の内容を整理し、解答に必要な言葉を取捨選択し、適切な表現で答える力をつけると、どんな問題でも解くことができるようになります。㊪は、問二の得点率がとても低くなりました。入試では、時間配分を適切に行うことも大切です。日頃から、時間を意識して学習しましょう。

数学

標準～やや難しい出題でした。

①はいずれも基本問題ですが、文字式と方程式を混同したり、相対度数を訊かれているのに階級を答えたりした答案が多かったです。間違えた原因を分析し、くり返さないようにしましょう。②は文字式・方程式からの出題で、特に問1は近年の入試で頻出のパターンです。一見すると読解量が多いように思えますが、流れに沿って整理・解答すればさほど難しくありません。③問3は、すべての場合が整理されていない人が多かったようです。樹形図や表を使い、整理しましょう。④問3は平行な直線を利用する問題でした。解説を読んでもう一度チャレンジしましょう。⑤は証明内で用いる用語や合同条件などを改めて確認しましょう。⑥は難しそうですが、基礎基本の組み合わせです。よく復習しましょう。

社会

標準的な出題でした。

地理分野では、①問5の時差の問題や②問3の雨温図の問題の得点率が低くなりました。時差も雨温図もテストでよく出題されるので、間違えた人は教科書や参考書を利用してしっかり復習しましょう。

歴史分野では、③問5の年代並べかえ問題の得点率が非常に低くなりました。年代に関する問題を苦手としている人は、教科書の年表などを利用して歴史の流れを確認しておきましょう。

記述問題については、問われたことを答えていない解答や、条件に従っていない解答が目立ちました。解答を作成する際は、問題文をよく読み、書き終わったあとに自分の解答があたえられた条件に沿ったものになっているかどうかを確認するようにしましょう。

理科

難しい出題でした。

①は問5は横軸の目盛りの時間を読み間違えた人が多かったようです。②は、植物の分類について、基礎的な内容でしたが、正答率が高くなりませんでした。間違えたものはしっかりと復習しましょう。③は、問3(1)を正解した人が多くいましたので、基礎は身につけている人が多いようです。④は問1は得点率が低かったものの、他は比較的できていたようです。⑤問2のような問題は、柱状図に標高を書き入れると考えやすくなります。⑥と⑦は、後半の思考や計算問題が難しくなりました。全体に、基本的な問題は出来ているものの、応用的な問題を間違えた人が多いようです。実践的な問題の演習を繰り返し、応用的な問題への対応力を見つけていきましょう。

英語

標準的な出題でした。

①のリスニングでは、問2の会話文応答の問題で得点率が低くなりました。この問いは会話文の内容をイメージする力と、選択肢をすぐに選ぶ力が求められます。

②は比較的よくできていたと思います。

③A問2やB問3の英問英答の問題は、本文の内容を理解し、正しく表現することが難しかったようです。主語や時制、複数形のミスには特に注意してください。

④の英作文は全体的に得点率が低くなりました。(1)、(2)のそれぞれの条件に従いながら、スペルミスや文法のミスを含まない英文を書きましょう。

英語では①のリスニングの試験時間が約12分間で、②～④までを残りの約38分で解答しなければなりません。時間配分に注意しながら問題を解きましょう。